

2024.3月発行



CHIENOWA
株式会社チエノワ

CHIENOWA

ものがたり通信

自我介绍

SANTOME
ONTAKITA

使命を持つ者同士の語り場

えんじんきみょう

たほうしょういん

“縁尋機妙・多逢勝因”

第5回燈火同窓会

vol.8



2018年11月開催_第三回燈火同窓会



2018年5月開催_第二回燈火同窓会



2019年2月開催_第四回燈火同窓会

2017 2024

使命を持つ者の語り場



2017年11月開催_第一回燈火同窓会



2024年2月開催_第五回燈火同窓会



田中 雅也(トラ)



2019年以来の 燈火同窓会



大澤 尚也(くま)



経済団体や地域、業界でご活躍される長寿企業経営者の皆様。

しかしながら、自身の悩みや課題を打ち明ける場が十分に整っているとは言い難いかもしれません。

そこで、同じ使命を持つ仲間同士が集い、互いに助言し合い、共に学び合える学び舎として、

2017年より燈火同窓会を開催しています！

「縁尋機妙(えんじんきみょう)、多逢勝因(たほうしょういん)」

この言葉に始まり、この言葉で終わることを実感した、あっという間の3時間半でした。

ほぼ初対面でも一瞬で打ち解け、弾けんばかりの笑顔と前向きなパワーが溢れる非日常空間は、燈火同窓会の醍醐味ですね(笑)

次の世代・時代へと襷をつなぐ使命があるからこそ通じ合えることがあり、苦惱葛藤を含めた本音を語り、笑い合いながら学べることのひとつひとつが財産です。まさに時間と空間を超えて仲間とつながる『三間(さんま、三つの間:時間・空間・仲間)』。これは何事にも代え難く、毎回出会うご縁と知恵が異なるからこそ唯一無二の機会であり、今後の開催が僕自身にとっても本当に楽しみです！

『初対面であれだけ安心感を感じながらリラックスして、時を過ごせたことが驚きでした～田中軍団のさらなる飛躍を応援していきます！』

『愉快で楽しく感動する場を頂き、感謝の気持ちで一杯です。“企業の第一責任は存続である(ドラッカーの教え)”を改めて思い出しました！』

『まさに“積善の家(チエノワ)に余慶あり”。刺激・元気・勇気を頂ける素敵なイベント。本当に良い会にお声がけ頂き感謝、感謝です！』

『社長になると見える世界が違う中、様々な生き残り方法を考えられていることが良くわかりました。地方から東京に来て本当によかったです！』

皆さまからの有難いメッセージにも感謝の気持ちで一杯です。

今後は“定期開催×少人数(4~15名)”で継続していきます。「ご縁の輪×知恵の和=未来への道標」となるべく、新たな挑戦を一つひとつ積み重ねていきます。偶然のような必然の出会いがココには必ずありますので、今後ともワクワクする機会をチエノワ・ファミリーの皆さまと共に築いて参ります！

2024年も引き続きよろしくお願い致します。



「チエノワ流 ～請求書対応を理解しよう～」

加藤 雅樹
神奈川県鎌倉市出身
永遠のサッカー小僧(社会人でも現役続行中！)

キックオフとは異なり、各自の視点や得意な部分を知る良い機会になりました！また、役職や年齢に関係なく、皆さんの発表するコンテンツが凄く面白いと感じました。今後はパートナーの皆さんもお呼びして「一時限目はカメラ、二時限目は音響」といった形で世界へ受けたい授業のように楽しく開催していきたいです！普段現場に出ないメンバーとパートナーさんとの交流や、パートナーさん同士の交流場にして、今後皆さんとつくる映像のクオリティを上げていきたいです！



「デザインのきほん」

大重 麻衣
宮城県宮崎市出身
ランニングとまちづくりボランティアに日々勤しむ！/目標は青島フルマラソン！

資料はデザインひとつで伝え方や読みやすさが変わります。普段直接デザインに関わらない人でも日々の資料作成に活かせるよう“簡単に実践できる”をテーマにしました。また、新しい挑戦として、いつも発表する際には作っているカンペをなくし、できるだけ皆さんの反応を見ながら発表を行いました！とても緊張しましたが、この挑戦に気づいてくれた方がいて非常に嬉しかったので、次回も挑戦します！



～100%実践～



「出勤簿について」

今井 綾
東京都葛飾区出身/子育て奮闘中！
宇宙とお笑いと猫が大好き/座右の銘「一方聞いて沙汰するな」

弊社の出勤簿はスプレッドシートで管理しており、最近簡易化したので使用方法を発表しました！実際に動かしながらなるべくわかりやすく伝えるように意識したのですが、皆さんに伝わったかどうか不安です(笑)今回は設定してある数式の説明を入れたりして実務に活かせる話をしてみます！！話を聞いた中で興味深かったのは川澤さんのカメラの使い方です！私はカメラや編集に対して苦手意識がありましたが、話を聴きながら自分のスマホで挑戦。知らなかった表示の意味や使ったことのない機能の使い方を学ぶことができました。苦手意識を克服する第一歩として、まずはスマホのカメラを使いこなせるようにしてみます！



TMT

実体験を軸として1人10分で
2023年に取り組んだ実践知を発表する学び舎を開講。
その名もTMT (Ten Minutes Teacher)。
仕事術から生活術まで幅広い分野での発表がありました！



佐倉 賢人(カビバラ)



「はぐくみ企業年金」

ブラン 由美
フランス人との国際結婚！
2児の“踊るワーママ(ダンス歴23年)”&ピラティス大好き！



退職金制度の導入に伴い、制度の概要だけでなく根底にある年金の仕組みもお話出来るように準備を重ねました。実際に北陸銀行さんからいただいた資料や各退職金制度を比較した記事等を用いて発表。発表後は、はぐくみ年金について個別相談をいただき、新NISAの話にまで発展しました！資産について考える“キッカケづくり”となった事が嬉しかったです！また経営陣を巻き込んだディスカッションに発展し、理解をより深める機会になった為、私自身も学びの多い時間となりました！

「Salesforce活用術」

清木 将
鹿児島県出身/ウクレレとカホンを愛し、
映像と写真に熱中する夢追い人！

社内の経理ツールとして活用しているSalesforce。今までとは違い、チエノワファミリーの実践知を蓄積し、データベース化する社内プロジェクトの一步として発表しました！社内でもSalesforceを頻繁に使う人と使わない人がいるため、聞く人の反応がいまいちでした。今後発表するときは、使い方を教えたい一方で、チエノワではどういう使い方をすべきか？を考慮し、業務で使える小技と一緒に発表していきたいと思えます！



23新卒の1年を振り返って



渡部 太雅

山形県米沢市出身
明治元年創業米屋の13代目！
座右の銘は「為せば成る為さねば成らぬ何事も」



「マインドセット」

2023年は「なにもできなかった」一年でした。入社前はたくさんの目標を持ち、キラキラした社会人を目指していたのですが、仕事をすればするほど自分のできないところが多く見え、頭を悩ます日々でした。また仕事・資格試験・旅行・遊びと、なんでもやりたいと思う反面、いろいろなことに手を付けることですべてが中途半端になっていました。そして、なにもできない自分が嫌になり、他責で物事を考えるようになりました。

このマインドではいけないと気づくことができたのは、大澤さんから「仕事を進める上で大切なのは、他責思考ではなく、自責思考だ」という言葉をいただいたことがきっかけです。振り返れば、仕事に後ろ向きになっていたときは他責で動き、常に「あの人が○○だから」と考えていました。しかし、自責思考を持ってからは「自分次第で何でも変えられる」と思うようになり、自分から積極的に動けるようになりました。

2024年度の目標は「質の高い仕事」です！仕事のミスをなくすとともに、今まで以上にお客様のことを考えて志事に取り組み「またチエノワの渡部さんにお願いしたい！！」とお客様から言っていたいただけるように精進してまいります！



濱中 佑

石川県能登町出身
愚直に真っ直ぐなクリエイターの卵
日々挑戦・日々反省で研鑽中！



「捨てたプライド」

2023年の一年を一言で表すと「我武者羅」です！
先を見ずに仕事に取り組んだわけではありませんが、「先輩たちに早く追いつきたい！」「褒められたい！」という想いが強く、入社当時は言われたことをただこなす編集作業マンになっており、何も考えずに言われたとおりの編集しかしていませんでした。そんな中、大澤さんから「自分が持っているプライドなんて、そんな小さいものは捨ててしまえ」というアドバイスをいただきました。振り返ってみると指摘されたり、怒られたりすることが嫌で、言われたことだけをただこなしていた自分がいました。しかし、プライドには持っていかかっこいいものとダサいものがあると気が付き、自分のつくりたい作品をつくるのではなく、「目的をもって編集すること」「お客様のニーズの背景を汲み取る」ことを意識し始めました。「プライドを捨てる」と言われた時は落ち込みましたが、アドバイスどおりに行動を変えてみるとプライドを持っていた時と比べてスムーズに仕事が進むようになり、上司からは「編集が早くなった」「入社時よりも凄く成長した」と言っていたできるようになりました！

来年度の目標は、「2023年度以上に撮影&映像制作に挑戦する」ことです！また、先輩もできるのでクリエイターとしてさらに成長していきます！！

中途新入社員紹介

2024年2月1日(木)に、神邊 晟佑(カンベ ジョウスケ)さんが入社！
報道番組やバラエティ番組などで才能を揮揮！
今後の活躍が期待されています。

神邊 晟佑

宮城県気仙沼市出身
元TVディレクター&報道記者！
「喜怒哀楽」を映し出し、物語を紡ぐ表現者！



「この環境で、成長したい！」

出身は宮城県です。父の仕事の関係で岩手県・長野県・新潟県・京都府・東京都・鹿児島県・大阪府の8都府県に住んでいました。社会人になってからは東京都と大阪府で報道番組やバラエティ番組などに携わり、ディレクターや記者をしてきました！

チエノワに入社を決めた理由は「長寿企業のノウハウを物語として語り継ぐ」というのが魅力的だと感じたからです。それに加え、面接の際に会社や社員の雰囲気がとても良かったので「この環境と一緒に成長したい！」と思い、入社を決めました！

チエノワではこれまでに培ってきた知識や技術を活かし、より深みのあるディレクションを通してものがたり創造に貢献したいです！

個人的には、ヒトの心を動かすドキュメンタリーが好きなので、「喜怒哀楽」を映像に落とし込む技術を磨いていきます。

また、旅行で海外に行くことが多く、英語も話せるので、会社の事業にも挑戦していきたいです！
これからよろしくお願ひいたします！

PICK UP!



新たな1年(第12期)に向けて、社員一人ひとりの個性や特徴を皆で語り合い、それぞれに合わせた動物(キャラクター)で表現いたしました！
多種多様な仲間が集い、ワクワクする未来図を描きながら、共に汗をかき・共に悩み・共に笑い合う「チエノワ動物園」です(笑)
ぜひ、誰がどのキャラクターなのか当ててみてくださいね～！